

報第 22 号

## 馬瀬総合観光株式会社の経営状況の報告について

馬瀬総合観光株式会社の経営状況について、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成 30 年 12 月 20 日提出

下呂市長 服 部 秀 洋

# 決 算 報 告 書

(第 24 期)

自 平成29年10月 1日  
至 平成30年 9月30日

馬瀬総合観光 株式会社

## 総括

2019年民営化に伴う取り組みの中で4年前の就任時に下げ止まりを食い止めるべく売上げアップと固定費（水道光熱費・電気使用量）の見直しの2本で取り組まなければとの思いと、そうしなければスムーズな引き継ぎは出来ないと考え対応してきましたが、今期初めの10月の週末に2度に渡り台風に見舞われ出鼻をくじかれる格好になりました。近年、日本人の旅行形態が変化し、特に、昨今、ある統計によりまして1年間に日本人の旅行する回数が減少傾向にあるとの報告がございます。以前は、人員稼働率で入れ込み状況の目安としていましたが、近年は部屋稼働で図ることに変わって来ています。満室で112名宿泊出来るところが50名前後で満室になることが多く、旅行形態の変化に対応できる様な取り組みへのシフトが迫られています。対応策として、新聞広告、DM、SNS等の情報発信を行って来ました。鮎釣りの解禁が昨年より早まったことで予約状況は昨年より早く進んでいましたが、6月29日の豪雨災害により、以下、次の様な外部要因が影響し売上が大きく落ち込みました。

10月22日と28日の週末に2度の台風

6月28日豪雨災害により西村地区断水・JR高山線運休8月11日飛騨金山まで

6月29日馬瀬地区避難指示

7月4・5日台風接近

7月6日R41号通行止め

7月8日R41号他全面通行止め

報道等により風評被害が広まり7月12日まで影響が出る。

以上等により宿泊客のキャンセル、日帰り客の減少がみられた。

8月の猛暑と飛騨金山の森キャンプ場の休業により日帰り客の減少。

8月25日の増水による花火の延期。

河川の増水により計8回予定をしていた火ぶり体験が4回しか出来なかった。

9月4日台風21号による被害と9月6日までの停電の影響によりお客様

の受け入れが出来なかった。

食材の破棄。

現在でも道路状況の問い合わせ多数あり。

全国的な自然災害により旅行をやめる人の増加。

9月以降の相次ぐ台風の発生によりキャンセル。

また、内部要因といたしまして、長年のトップダウンの企業体質から脱する事が難しい現状（リピーター重視の対応）と新規顧客獲得の営業への取り組み等に於いて、別途、述べた様な取り組みが出来ず、企業体質改善を図るために松井会計の河合さんのアドバイスをいただきながら、長期的展望に立ち、取り組もうと考えます。

しかし、職員の数が少ないため、他部署フォローに入ったり各々に負担がかかっているのも事実ですが、社員各々のモチベーションを上げるような社内改革も必要になってきます。しかし、現状を把握し取り組もうとする姿勢は見られる様になって来ました。

## 貸借対照表

平成30年 9月30日 現在

馬瀬総合観光 株式会社

(単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	21,332,875	<b>【流動負債】</b>	14,534,329
現金及び預金	14,363,103	買掛金	5,357,036
売掛金	3,493,482	未払金	8,345,521
商品	1,234,586	未払法人税等	185,000
原材料	1,104,324	未払消費税等	225,000
貯蔵品	977,040	預り金	421,772
前払費用	64,980	<b>【固定負債】</b>	72,000
立替金	115,360	長期預り金	72,000
貸倒引当金	-20,000	<b>負債の部合計</b>	14,606,329
<b>【固定資産】</b>	46,216,411	<b>純 資 ・ 産 の 部</b>	
<b>【有形固定資産】</b>	45,705,451	<b>【株主資本】</b>	52,942,957
建物	15,973,559	資本金	73,000,000
構築物	828,349	利益剰余金	-20,057,043
建物附属設備	7,146,879	その他利益剰余金	-20,057,043
車両・運搬具	1,497,723	繰越利益剰余金	-20,057,043
工具・器具・備品	20,258,941		
<b>【無形固定資産】</b>	499,960	<b>純資産の部合計</b>	52,942,957
電話加入権	499,960		
<b>【投資その他の資産】</b>	11,000	<b>負債及び純資産合計</b>	67,549,286
出資金	11,000		
<b>資産の部合計</b>	67,549,286		

## 損 益 計 算 書

自 平成29年10月 1日  
至 平成30年 9月30日

馬瀬総合観光 株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		
宿 泊 売 上 高	135,469,232	
食 事 売 上 高	33,237,589	
ス パ ー 売 上 高	26,290,641	
喫 茶 売 上 高	842,143	
休 憩 室 売 上 高	3,793,488	
売 店 売 上 高	23,136,799	
露 天 風 呂 売 上 高	488,014	
そ の 他 売 上 高	17,263,287	
売 上 高 合 計		240,521,193
<b>【売上原価】</b>		
期 首 た な 卸 高	2,487,114	
材 料 仕 入 高	43,476,796	
売 店 仕 入 高	16,616,326	
そ の 他 仕 入 高	9,395,481	
合 計	71,975,717	
期 末 た な 卸 高	2,338,910	
売 上 原 価		69,636,807
売 上 総 利 益 金 額		170,884,386
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		
販売費及び一般管理費合計		208,968,321
営 業 損 失 金 額		38,083,935
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息 割 引 料	1,798	
受 取 配 当 金	150	
雑 収 入	6,222,903	
営 業 外 収 益 合 計		6,224,851
経 常 損 失 金 額		31,859,084
<b>【特別損失】</b>		
固 定 資 産 除 却 損	2,535,918	
前 期 損 益 修 正 損	1,340,400	
特 別 損 失 合 計		3,876,318
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		35,735,402
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		185,298
当 期 純 損 失 金 額		35,920,700

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成29年10月 1日  
至 平成30年 9月30日

馬瀬総合観光 株式会社

(単位： 円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	10,116,015
荷 造 運 賃	11,718
施 設 管 理 費	10,216,375
派 遣 料	4,643,744
リ ネ ン 費	4,169,357
営 業 費	4,864,539
給 料 手 当	38,922,863
雑 給	40,540,690
法 定 福 利 費	9,935,598
福 利 厚 生 費	2,872,628
減 価 償 却 費	13,484,803
地 代 家 賃	127,000
修 繕 費	2,418,518
事 務 用 消 耗 品 費	217,880
通 信 費	907,711
ボ イ ラ 一 燃 料 費	19,673,849
水 道 光 熱 費	28,939,080
租 税 公 課	377,913
保 険 料	218,960
消 耗 品 費	5,878,406
備 品 費	1,133,984
自 動 車 費	2,010,799
諸 会 費	220,100
支 払 手 数 料	2,881,095
支 払 報 酬	1,889,500
リ 一 ス 料	1,721,708
貸 倒 償 却	20,000
雑 費	553,488
販売費及び一般管理費合計	208,968,321

株主資本等変動計算書

自 平成29年10月 1日  
至 平成30年 9月30日

馬瀬総合観光 株式会社

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高		73,000,000	
	当期末残高		73,000,000	
利 益 剰 余 金				
そ の 他 利 益 剰 余 金				
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		15,863,657	
	当期変動額	当期純利益金額	-35,920,700	
	当期末残高		-20,057,043	
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		15,863,657	
	当期変動額		-35,920,700	
	当期末残高		-20,057,043	
株 主 資 本 合 計	当期首残高		88,863,657	
	当期変動額		-35,920,700	
	当期末残高		52,942,957	
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		88,863,657	
	当期変動額		-35,920,700	
	当期末残高		52,942,957	

## 個別注記表

商号、馬瀬総合観光 株式会社

平成29年10月1日から  
平成30年 9月30日まで

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

### I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による低価法を採用しております。
2. 固定資産の減価償却方法
  - (1) 有形固定資産  
法人税法の規定に基づく定率法又は旧定率法を採用しております。  
ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については法人税法の規定に基づく旧定額法、平成19年4月1日以後に取得した建物(附属設備を除く)については定額法、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用しております。  
なお、平成15年4月1日以後に取得した取得価格30万円未満の資産については、取得時に費用処理しております。  
なお、取得価格10万円以上20万円未満の資産については、3年均等償却を採用しております。
  - (2) 無形固定資産  
法人税法の規定に基づく定額法又は旧定額法を採用しております。
3. 引当金の計上  
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。
4. 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。
5. その他計算書類の作成のための基本となる重要事項
  - (1) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。  
なお、未経過リース料総額は、1,039,500円であります。

### II. 貸借対照表等に関する注記

- |                      |             |   |
|----------------------|-------------|---|
| 1. 取締役等に対する金銭債権・金銭債務 |             |   |
| 金銭債権                 | 0           | 円 |
| 金銭債務                 | 0           | 円 |
| 2. 有形固定資産の減価償却累計額    | 118,014,594 | 円 |

### III. 株主資本等変動計算書に関する注記

- |            |       |   |
|------------|-------|---|
| 1. 発行済株式総数 | 1,460 | 株 |
|------------|-------|---|

### IV. 損益計算書注記

- |                   |             |   |
|-------------------|-------------|---|
| 1. 一株当たり純資産額      | 36,262.30   | 円 |
| 2. 一株当たり当期純利益(損失) | △ 24,603.22 | 円 |

以上

承 認	作 成	監 査
--------	--------	--------

雑益、雑損失等の内訳書

商号：馬瀬総合観光 株式会社

⑯

平成29年10月 1日～平成30年 9月30日

P- 1

科 目	取引の内容	相手先	所在地(住所)	金額	
雑 益	受取利息	普通預金利息 他	益田信用組合 他	岐阜県下呂市森690-1	1,798
	計				1,798
	受取配当金	出資配当金	益田信用組合	岐阜県下呂市森690-1	150
	計				150
	雑収入	道の駅管理料	下呂市観光課	岐阜県下呂市森960	2,129,630
〃	出向料	南飛騨馬瀬川観光協会	岐阜県下呂市馬瀬西村1508-1	3,120,000	
〃	寮家賃	従業員		768,000	
〃	施設利用料	フランス総合医療	岐阜県下呂市小川1819-3	93,521	
計					
雑 損	固定資産除却損	構築物除却損 (償却明細参照)			1,086,697
	〃	車両運搬具除却損 (償却明細参照)			2,390
	〃	器具備品除却損 (償却明細参照)			1,446,831
	計				2,535,918
失 等	前期損益修正損	過年度償却資産税	下呂市役所	岐阜県下呂市森960	1,340,400
	計				1,340,400
	計				
計				3,876,318	

(法0302-17)

## 監査報告

商法（明治32年法律第48号）第275条の規定により、  
平成30年11月12日、代表取締役から提出された平成30年第24期事業  
報告書・貸借対照表・損益計算書の各事項及びその他関係書類を監査いたしま  
した。

その内容は適正かつ正確であることを認めます。

平成30年11月12日

馬瀬総合観光株式会社

監査役 二村 昭司



監査役 熊崎 長司



# 資料

美 輝 の 里 営 業 状 況 概 要 書 及 び 計 画 (単位:人)

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年累計	
23年	日帰り	4,359	3,927	4,658	5,602	8,270	4,458	6,528	10,736	5,104	6,538	7,033	3,295	70,508
	宿泊	819	1,031	1,112	1,424	1,330	1,174	1,602	2,068	1,285	1,599	1,625	1,074	16,143
24年	日帰り	4,944	3,331	4,684	5,073	7,082	4,198	5,037	10,784	5,369	5,062	6,166	2,951	64,681
	宿泊	1,000	979	1,389	1,821	1,524	1,441	1,486	2,105	1,291	1,476	1,584	1,094	17,190
25年	日帰り	4,381	2,903	4,723	5,404	6,634	4,158	5,395	9,699	4,930	4,607	6,802	3,058	62,694
	宿泊	906	1,141	1,247	1,562	1,616	1,079	1,662	2,003	1,456	1,494	1,656	986	16,808
26年	日帰り	4,428	2,733	4,383	4,928	6,921	4,227	5,169	8,123	4,678	4,151	5,783	2,199	57,723
	宿泊	846	753	1,185	1,271	1,164	1,100	1,528	1,857	1,394	1,390	1,626	894	15,008
27年	日帰り	3,435	2,869	3,706	4,418	6,731	3,477	4,843	9,252	5,434	5,712	6,193	3,376	59,446
	宿泊	745	674	1,158	1,147	1,192	937	1,497	1,811	1,322	1,490	1,382	934	14,289
28年	日帰り	4,667	3,566	4,352	4,688	6,063	3,401	5,667	8,888	4,171	4,635	5,312	3,170	58,580
	宿泊	820	724	1,356	1,497	1,455	1,117	1,832	1,952	1,344	1,715	1,601	952	16,365
29年	日帰り	3,977	2,598	4,082	4,259	6,034	3,219	5,013	8,781	4,071	3,773	4,655	2,914	53,376
	宿泊	864	595	1,427	1,546	1,403	1,323	1,681	1,789	1,369	1,471	1,562	813	15,843
30年	日帰り	3,866	2,567	3,725	4,341	4,984	3,238	2,812	7,067	3,366	3,710			39,676
	宿泊	798	640	1,113	1,466	1,293	1,267	1,364	1,824	1,128	1,516			12,409

①10月22日と28日の週末に2度の台風

②6月28日豪雨災害により西村地区断水・JR高山線運休8月11日飛騨金山まで

6月29日馬瀬地区避難指示

7月4・5日台風接近

7月6日R41号通行止め

7月8日R41号他全面通行止め

報道等により風評被害が広まり7月12日まで影響が出る。 以上等により宿泊客のキャンセル、日帰り客の減少がみられた。

③8月の猛暑と飛騨金山の森キャンプ場の休業により日帰り客の減少。

8月25日の増水による花火の延期。

河川の増水により計8回予定をしていた火ぶり体験が4回しか出来なかった。

④9月4日台風21号による被害と9月6日までの停電の影響によりお客様の受け入れが出来なかった。

食材の破棄。

全国的な自然災害により旅行をやめる人の増加。

⑤9月以降の相次ぐ台風の発生によりキャンセル。